

### 第9回技術講演会の開催

第9回技術講演会を2月22日(木) 15:30~17:00 機械振興会館 研修2号室で開催いたしました。

今回は、講師にテュフ ラインランド ジャパン株式会社製品部ソフトライン&ハードライン 課長の亀井啓輔様をお招きし、「EU RoHS 指令~規制の基本及びその対応方法~」の演題で講演していただきました。

EU RoHS 指令 (RoHS1) は、環境や健康被害を発生源で対処するために有害物質を含有した電気電子機器を EU 市場に入れないことを目的とした入口規制であり、対となる出口規制は廃電気電子機器 WEEE 指令になります。2003年にCd、Pb、Hgなど6物質を規定して施行され、2013年には対象カテゴリーの



講演会風景

### 主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第9回技術講演会の開催・・・・・・・・・・	1	技術調査事業・・・・・・・・・・	4
委員会開催・活動状況		広報・PR 事業・・・・・・・・・・	5
需要対策事業・・・・・・・・・・	2	中小企業関連事業/その他事業・・・・・・・・	6
国際交流事業・・・・・・・・・・	2	今後の主要行事予定・・・・・・・・・・	6
標準化事業/ISO 対策事業・・・・・・・・	2	統計資料・・・・・・・・・・	9
標準化事業/規格事業・・・・・・・・	3		

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL <http://www.jfpa.biz/>

そこで、この講演会は、

- 何となくわかっているけれど、きちんと理解できていない状況を踏まえ、
- 自社製品が適用範囲であるかの確認も含め、
- RoHS 指令の基本概要や指令で要求される CE マーキング

などについて、基礎からわかるように説明していただくことを狙いとして企画したものです。

当日は、80 名という多数の参加者が非常に熱心に聴講して活発な質疑応答がなされる等 EU における規制の状況について会員企業の皆様の興味の程がうかがえました。



亀井講師自己紹介

講演の内容は、

1. 欧州連合 (EU) の法体系
2. EU RoHS 指令について
3. RoHS 指令への対応
4. RoHS 指令対応分析試験

の項立てで、1. では欧州の法律の種類から製品に CE マーキングを表示する意味まで体系的に説明していただきました。続く 2. の「EU RoHS 指令について」では、1990 年代後半に廃電気電子機器の埋立てが盛んに行なわれ、その 90%以上が何も処理されずに焼却されたため環境汚染が増大したことをきっかけとして、RoHS (Restriction on Hazardous Substances) 指令が施工されるに至った背景が説明されました。さらに、RoHS2 指令の適用範囲 (カテゴリー)、対象外のカテゴリー、特定有害化学物質の最大許容濃度、追加されたフタル酸エステル類について詳しく解説がなされました。3. では、指令への対応は自社の自己責任で行い、技術文書を作成することや、その作成手順、もし指令に違反したら、など具体的な説明がありました。特に、各企業での対応として、品質管理体制の構築は言うに及ばず、購買、技術、製造、営業など全社全体での体制づくりの重要性を強調しておられたことが印象的でした。

なお、当技術講演会の詳細は、聴講した機関誌編

集委員の執筆による寄稿記事を、機関誌「フルードパワー」平成 30 年春号 (Vol. 32, No. 2) に掲載します。また、解説記事「RoHS フタル酸エステル分析の要点」も同号に併せて掲載しますので、是非ご一読ください。

~~~~~

#### 需要対策事業

~~~~~

平成 30 年度建設機械需要見通し発表される

(一社) 日本建設機械工業会は平成 30 年 2 月 28 日 (水) に平成 30 年度建設機械需要見通しを発表しました。発表によれば、平成 29 年度の建設機械の出荷見込は、内需は下期に油圧ショベルの落ち込みがあったものの上期の伸びに支えられ前年度比 3%増に、外需は世界的な需要の回復に恵まれ前年度比 32%増と見込まれ、内外需総合では前年度比 17%増の 2 兆 2、831 億円と高い水準を維持した。

一方、平成 30 年度は、内需は引き続き堅調な公共・民間建設投資が期待されるものの、駆け込み需要の反動減もあるため、内需は、8,571 億円と対前年度比 4%減を見込んでおります。一方、外需は落ち込みの傾向は見えず、対前年度比 11%増の 1 兆 5,427 億円と見込み、内外需総合で、対前年比 5%増の 2 兆 3,998 億円と過去最高に迫る見通しが策定されております。

~~~~~

#### 国際交流事業

~~~~~

国際・中小企業委員会共催講演会

日 時 2 月 14 日 (水) 15:00 ~17:00

場 所 機械振興会館 6D-4 会議室

出席者 新開国際委員長

十万中小企業委員長 以下 24 名

事務局 藤原、鎌原、堀江

議 事

今回は、kikai-news.net 矢野 功治 様 (元・重化学工業通信社) をお招きし、「機械業界の動向と情報発信の変化について」のテーマでご講演いただきました。

はじめに十万幹雄中小企業委員会委員長の挨拶と講師の略歴紹介があり、その後講演に入りました。

講演の内容は、

- ・日本の機械業界の全般的な動向、建設・鉱山機械

の世界需要動向、企業の情報発信の仕方について実務的なお話を頂きました。講演終了後のアンケートでも、興味深くよく理解出来たとの声が多く、講師の長年の経験から業界の貴重な情報が聞けたとの意見がありました。なお、当日使用した資料は当会 HP(会員サイト)に掲載しておりますのでご利用ください。

[\(http://www.jfpa.biz/enterprise/seminar/\)](http://www.jfpa.biz/enterprise/seminar/)



講演会風景

標準化事業／規格事業

#### 空気圧バルブ分科会

日 時 2月7日(水) 13:30～16:30

場 所 械振興会館6-63 会議室

出席者 石毛主査以下9名

事務局 前畑

#### 議 事

前回議事録の確認後、JIS B 8376 (空気圧用速度制御弁)の改正について、本年1月に開催されたJIS原案作成委員会の報告がなされた。本委員会での指摘事項の修正内容を確認し、規格協会へ最終原案として提出することとした。

次いで、投票に掛かっている案件ISO/CD 10094-2について審議した。内容を確認し、各社にて検討することとした。

次いで、ポケットブック改訂について討議した。各委員にて検討し、次回会合時に持ち寄り検討することとした。

次いで、今後のテーマについて討議した。JIS B 8672-2 (空気圧一試験による機器の信頼性評価－第2部：方向制御弁)について、対応国際規格 (ISO

9973-2)の改正有無を調査し、テーマとして取り上げるか否かを検討することとした。

次回開催：4月27日(金)、機械振興会館

#### 油圧フィルタ・作動油分科会

日 時 2月14日(水) 13:30～16:30

場 所 機械振興会館6S-2 会議室

出席者 難波主査以下10名

事務局 前畑

#### 議 事

前回議事録の確認後、JIS B 9938 (難燃性作動油の使用指針)について、改正案を継続審議した。前回作成終了した分科会原案の第一案に関して、規格協会からも参加頂き審議した。今回の指摘事項を修正の上、規格調整提出することとした。

次回開催：4月11日(水)、機械振興会館

#### 空気圧エアドライヤ分科会

日 時 2月16日(金) 14:00～17:00

場 所 機械振興会館6-60 会議室

出席者 竹内主査以下3名

事務局 前畑

#### 議 事

前回議事録の確認後、ポケットブック改訂について討議した。ISO規格の変更に伴うJIS改正により飽和湿り空気表がJISから削除されているため、本表の記載をどうすべきか議論が必要との意見が出された。その他、各委員にて検討し、次回会合時に持ち寄り検討することとした。

次いで、エアドライヤのトラブルシューティングに関するガイドラインについて討議した。各委員から出された案をまとめてガイドラインを作成していくこととした。

次いで、今年度の活動実績と来年度の活動計画の案について討議した。来年度は、エアドライヤのトラブルシューティングを継続して取り上げることとした。

次回開催：7月20日(金)、機械振興会館

#### 空気圧調質機器分科会

日 時 2月20日(火) 13:30～16:30

場 所 機械振興会館6-60 会議室

出席者 小田主査以下6名

事務局 前畑

#### 議 事

前回議事録の確認後、投票に掛かっているISO/CD 10094-2について審議した。今回の改正では試験回

路が変更されているが、本文の説明と一致していないなど誤記箇所が多数あるため、修正コメントを付けて投票することとした。

次いで、JIS B 8372-2 改正について、前回に引き続き、ISO 6953-2 との対比しながら改正内容を審議した。

次いで、ポケットブック改訂について討議した。各委員にて検討し、次回会合時に持ち寄り検討することとした。

次回開催：4月24日(火)、機械振興会館

#### 空気圧継手・チューブ分科会

日時 2月20日(火) 13:30~16:30

場所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 浅里主査以下6名

事務局 千葉

#### 議事

まず、空気圧ポケットブックの改訂に関して意見交換を行い、2012年以降に発行された JIS 及び JFPS を反映させることで合意した。具体的な例として JIS B 8381-2 の締込み継手の最小引張力の表の追加などが挙げられた。

次に、前回議事録の確認後、ISO 14743 の改正に伴う JIS B 8381-1 の改正に向けた準備としての検討に入った。各社が分担して作成した「性能要求事項及び試験方法」J形継手(JFPS 2021-1)とI形継手(ISO/DIS 14743)との対比表のうち、引張力試験、耐圧試験及び破壊圧力試験の項目について検討した。

続いて、5月のISO ロンドン国際会議の関連する SC4/WG9 への出席について検討したが、現在の状況から判断し参加しないということで合意した。

最後に、流量測定法の JIS が改正されたことに伴う対応について議論した。

次回開催：5月23日(水)、機械振興会館

#### 空気圧システム分科会

日時 2月23日(金) 13:15~16:15

場所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 増尾主査以下7名

事務局 前畑

#### 議事

前回議事録の確認後、投票に掛かっている ISO/DTR 22165 について審議した。特に問題はなく、賛成にて投票することとした。

次いで、ISO 国際会議として、次回ロンドン国際会議及び次々回フランクフルト国際会議のスケジュールについて情報共有した。

次いで、リスクアセスメントガイドブックについて審議した。全文を通して確認し、体裁の統一化等を実施した。修正した最終版を各委員で確認し、3月までに発行することとした。

次いで、JIS B 0125-1 (油圧・空気圧システム及び機器—図記号及び回路図—第1部：図記号)の改正について討議した。本規格は油圧図記号と空気圧図記号の両方が記載されているため、現在、油圧システム分科会で使用している対比表を活用し、同様の方法で改正作業を進めることとした。

次いで、ポケットブック改訂について討議した。各委員にて検討し、次回会合時に持ち寄り検討することとした。

次回開催：4月12日(木)、機械振興会館

#### 油圧ポンプ・モータ分科会

日時 2月27日(火) 13:30~16:30

場所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 馬場主査以下8名

事務局 前畑

#### 議事

前回議事録の確認後、ISO 国際会議として、次回ロンドン国際会議及び次々回フランクフルト国際会議のスケジュールについて情報共有した。

次いで、今後のテーマについて討議した。回転数制御システムにおける流量計(動特性)試験方法等の規格化、IoT・ICT化推進に伴うセンシング技術関連、グリーン調達関連(REACH, RoHS等)、機械指令(2006/42/EC)変更に伴う適用範囲のリスク・アセスメント関連、シミュレーションモデルの規格化、イミテーションに関する取り組み方の意見交換等の意見が出され、今後検討していくこととした。

次いで、ポケットブック改訂について討議した。各委員にて検討した結果が報告され、空気混入時の作動油の体積弾性係数の妥当性や取付寸法に関する記載内容等について指摘があった。引き続き各委員にて検討し、次回会合時に持ち寄り検討することとした。

次回開催：7月5日(木)、機械振興会館

~~~~~

標準化事業/ISO事業

~~~~~

#### 油圧バルブ分科会

日時 2月15日(木) 14:00~16:30

場所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 浦井主査以下 11 名

事務局 前畑

議 事

次いで、現在投票に掛かっている ISO 投票に関して審議した。各々、ISO/CD 9110-1：賛成、ISO/CD 9110-2：賛成、ISO/SR 10770-2：反対（修正必要）、ISO/WD 5783：賛成、ISO/DIS 4411：賛成にて投票することとした。特に、ISO/SR 10770-2 に関しては、本 ISO 規格の対象となる JISB8659-2 制定時に修正した項目をコメントすることとした。

次いで、次回ロンドン国際会議及び次々回フラン克福ルト国際会議のスケジュールについて情報共有した。

次いで、1/29 に開催された平成 30 年度 JIS 公募(区分 A) のヒアリングについて報告がなされた。特に大きな指摘はなく、公募採用が承認されたとのこと。

次いで、2/1 に開催された JIS 原案審議会について報告がなされた。JIS B 8387 (油圧-4 ポート形モジュラスタック形弁及び 4 ポート形方向制御弁-締付寸法) について審議され、審議会委員から意見は出されたものの修正必要箇所は特に指摘されず、原案通りにて発行される予定とのこと。

次いで、ポケットブック改訂について討議した。各委員にて検討し、次回会合時に持ち寄り検討することとした。

次いで、JIS B 8668 改正について審議した。前回に引き続き、各委員で割り振りした担当部分の検討内容について審議した。

次回開催：4 月 19 日(木)、機械振興会館

空気圧コンタミ分科会

日 時 2 月 16 日(金) 15:00~17:00

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 三浦主査以下 8 名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、主査より 9 月 19~20 日にドイツ・エッセンで開催された ISO/TC118/SC4/WG1 国際会議の報告がなされた。現在 DIS 投票に掛かっている ISO 8573-4 に関して本年 11 月頃に発行される予定であり、それに対応して JIS 改正が必要になるとのこと。

次いで、投票に掛かっている ISO/DIS 8573-4 について審議した。特に異論はなく、賛成にて投票することとした。

次いで、ポケットブック改訂について討議した。各委員にて検討し、次回会合時に持ち寄り検討する

こととした。

次いで、来年度の活動について討議した。現在改正中の ISO 8573-4 が発行された後に JIS 改正の検討、及びポケットブック改訂が候補として出された。

次回開催：6 月 15 日(金)、機械振興会館

\* ISO の動き

発行された ISO 規格

(TC131)

ISO 6162-2:2018 Hydraulic fluid power -- Flange connections with split or one-piece flange clamps and metric or inch screws -- Part 2: Flange connectors, ports and mounting surfaces for use at a pressure of 42 MPa (420 bar), DN 13 to DN 76

投票に付されている ISO 規格案 (FDIS, DIS)

(TC131)

ISO/FDIS 5597 Hydraulic fluid power -- Cylinders -- Dimensions and tolerances of housings for single-acting piston and rod seals in reciprocating applications

ISO/FDIS 11943 Hydraulic fluid power -- On-line automatic particle-counting systems for liquids -- Methods of calibration and validation  
ISO/DIS 6149-1 Connections for hydraulic fluid power and general use -- Ports and stud ends with ISO 261 metric threads and O-ring sealing -- Part 1: Ports with truncated housing for O-ring seal

ISO/DIS 2942 Hydraulic fluid power -- Filter elements -- Verification of fabrication integrity and determination of the first bubble point

~~~~~

技術調査事業

~~~~~

技術委員会空気圧部会若手技術者懇談会

日 時 2 月 9 日(金) 13:30 ~19:00

場 所 大森機械工業(株)

出席者 菊池宏部会長以下 14 名

事務局 大橋

概 要

空気圧部会の平成 29 年度第 2 回目となる工場見学会は、包装機械メーカーの大森機械工業(株)殿(埼玉県越谷市)を訪問し、組立工場である“さくら工房”



を見学させていただいた。

第1部では、営業本部の森永太マネージャーから会社概要と生産機種の説明を受け、生産本部の水野孝司マネージャー、各機種担当の技術者を含め6名の方々の先導により見学に移った。耐久試験中の機械や生産過程の機械の試運転状況などをつぶさに見ることができ、活発に質疑応答がなされた。サーボモータ使用機のなかでの空気圧機器の役割や電動との比較、使用しての長・短所の評価なども現場で説明を受け、第2部の「空気圧に期待するところ」と題する講演ではより現実味のあるユーザの声として聴くことができた。

第3部は、これらを受け若手3グループによる討議と発表を行った。空気圧機器に対する期待や開発要望に応える心強い決意表明も聞くことができた。



グループ討議の状況

場所を変えた第4部では、第3部の延長線上で大森殿の6名の参加者と若手の活発な懇談が続き、新規3名の参加者との懇親をはじめ、前回参加者同士でも旧交を温め、時を忘れるほどであった。



懇談会後の懇親会参加者

2回にわたる懇談会の概要は、機関誌「フルードパワー」春号に報告記事として掲載する予定。

ADS 国際標準化推進・規格小委員会（第4回）  
開催日 2月15日（木）  
場所 機械振興会館 311号会議室

出席者 吉田主査以下3名  
事務局 藤原、大野、宮川、大橋  
議事

冒頭、藤原専務から3年間の国際標準化推進委員会の総括と今後の取り組みについての説明があった。続いて大野アドバイザーから、資料に基づき本年のISO再提へ案の取り組み手順と要点について解説がなされた。

その後、吉田主査の進行により、規格案を主体とした読み合わせを行い、報告書としての構成の見直しをして本年度最終審議を終えた。

技術委員会 水圧部会（平29年度第8回）  
日時 2月16日（金）14:00～17:00  
場所 機械振興会館 B3-3 会議室  
出席者 宮川部会長以下13名  
事務局 大橋  
議事

前回議事録の確認後、議事を進めた。

#### 1. IFPEX2017 出展総括

冒頭、出展社アンケート集約結果の要約版配布後に訪問者・所属の公開要望があったことを報告し、その是非及び今後の部会活動への反映の仕方と日程について、グループ討議をしてほしい旨、事務局から提案した。

#### 2. ホームページ・ブログ更新報告

鳥居委員よりブログ更新実績とアクセス状況の報告を受け、今後の継続要否についても意見交換を行った。

#### 3. WGによる活動計画討議

事前に調査した市場調査グループ（MR）と広報・PR（PR）の参加者を確認し、2グループ毎に現状の問題点と本年度計画について討議した。

これに先立ち、大林委員から本年の活動計画案、鳥居委員、村田委員会からホームページ、ブログの長・短所分析と改善方針について説明があった。また、参考として1998年以降の水圧関連研究委員会や見本市出展実績など水圧部会の活動履歴を事務局作成の年表により振り返り、併せて、2010年以降のブログ掲載テーマを確認した。

次回開催：平成30年4または5月とし別途調整

技術委員会技術講演会  
日時 2月22日（木）15:30～17:00  
場所 機械振興会館 研修2号室  
出席者 80名  
事務局 藤原、千葉、前畑、大橋

(1頁及び2頁参照)

技術委員会空気圧部会第544回特許分科会  
日時 2月23日(金) 13:00～17:00  
場所 名古屋国際センター 第6会議室  
出席者 井野幹事以下5名  
事務局 吉田  
議事

前回議事録確認後、公報の検討と無効理由調査について審議した。2件については引き続きウォッチングを続けることとした。1件については異議申し立てを実施していくこととし、方向性を確認した。2件については引き続き調査をすることとした。特許法第30条の改正について情報交換を行った。  
次回開催:3月23日(金) 機振会館6-61会議室

~~~~~  
中小企業関連事業  
~~~~~

中小企業・国際委員会共催講演会  
日時 2月14日(水) 15:00～17:00  
場所 機械振興会館 6D-4会議室  
出席者 十万中小企業委員長  
新開国際委員長以下24名  
事務局 藤原、鎌原、堀江  
議事及び講演の内容

前述の国際交流事業に記載されている内容をご参照下さい。

資料は当会HPに掲載しておりますのでご利用ください。

(<http://www.jfpa.biz/enterprise/seminar/>)

中小企業委員会WG(ワキンググループ)  
日時 2月14日(水) 13:30～14:30  
場所 機械振興会館 6D-4会議室  
出席者 松井幹事、木下幹事 他11名  
事務局 堀江  
議事

新メンバー3名:神威産業・星様、堀内機械・吉見様、マツイ・浅香様の紹介及び平成30年度の新幹事を神威産業・星様、光陽精機・高野様に決めた。

また、平成30年度の中小WG海外研修視察については、5月頃までに各位の希望訪問先候補(案)を意見収集し、幹事及び事務局で内容を協議し、必要があれば9月～11月頃に実施することとした。

平成30年度の工業会の技術研修制度については、

平成29年度初めての実施経験を基に油圧技能士実技試験の定員増加や新人技術研修の新規開設等の意見を基に事務局にて具体的に詰めていくこととした。

~~~~~  
今後の主要行事予定  
~~~~~

- \*平成30年
- ☆3月29日(木) 第28回政策委員会  
(場所) 当会会議室
- ☆4月20日(金) 第83回理事会及び懇親会  
(時間) 15:30～16:50  
(場所) ザ・プリンスさくらタワー高輪  
2F「コンファレンスフロア」
- ☆5月17日(木) 平成30年度(第19回) 定時総会  
(時間) 15:30～16:50  
(場所) 東京プリンスホテル芝公園サンフラワーホール  
同懇親会  
(時間) 17:00～18:30  
(場所) 東京プリンスホテル  
マグノリアホール
- ☆5月18日(金) 第57回JFPA 懇親ゴルフ会  
(場所) 程ヶ谷ゴルフ倶楽部スタート  
OUT 3組  
IN 3組
- ☆11月1日(木)～6日(火) JIMTOF2018  
(場所) 東京ビックサイト

~~~~~  
2月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)  
~~~~~

- (国際交流及び中小企業委員会共催事業)
- 講演会: 機械業界の動向と情報発信の変化について  
開催日 2月14日(水)
- 中小企業委員会  
委員長 十万幹雄(神威産業)  
副委員長 松井正彦(マツイ)
- 国際委員会  
委員長 新開 諭(甲南電機)  
参加者 星 蔵貴(神威産業)

// 松井源太郎 (マツイ)  
 // 浅香紀之 (マツイ)  
 // 宇佐美 伸 (NOK)  
 // 中溝陽一 (島津製作所)  
 // 松岡 勉 (タカコ)  
 // 北村 充 (日本ムーグ)  
 // 杉崎秀之 (廣瀬バルブ工業)  
 // 篠根邦夫 (堀内機械)  
 // 吉見利夫 (堀内機械)  
 // 七条秀明 (堀内機械)  
 // 増田堅太郎 (増田製作所)  
 // 木下純夫 (三尾製作所)  
 // 永久秀治 (油研工業)  
 // 佐々木 毅 (イトン)  
 // 大塚宏之 (オートカ)  
 // 田淵 伸 (KYB)  
 // 森田勇一 (大生工業)  
 // 山下 儘 (日東工器)  
 // 風間英朗 (日本アキュムレータ)  
 // 森本博統 (日本フィルトレーショングループ)  
 // 廣瀬洋二 (ポクレンハイドロリックス)

特別委員 古田豊 (日本規格協会)  
 アドバイザ 千葉誠 (JFPA)

空気圧エアドライヤ分科会  
 開催日 2月16日(金)  
 出席者  
 主 査 竹内則久 (オリオン機械)  
 委 員 那須一文 (SMC)  
 アドバイザ 千葉誠 (JFPA)

空圧コンタミ分科会  
 開催日 2月16日(金)  
 出席者  
 主 査 三浦孝夫 (アトラスコプロ)  
 委 員 大嶽康行 (CKD)  
 // 田中崇行 (SMC)  
 // 佐々木政彰 (アズビル TACO)  
 // 榊田充隆 (コガネイ)  
 // 中塚博士 (SMC)  
 // 高橋隆通 (甲南電機)  
 アドバイザ 千葉誠 (JFPA)

(標準化事業/規格事業)

空気圧バルブ分科会

開催日 2月7日(水)

出席者

主 査 石毛浩二 (クロダニューマティクス)

委 員 夏目清辰 (CKD)

// 大島雅之 (SMC)

// 河野喜之 (甲南電機)

// 中古弘 (TAIYO)

// 渡邊陽 (コガネイ)

// 八手又秀浩 (日本ピスコ)

// 鈴木一成 (妙徳)

アドバイザ 千葉誠 (JFPA)

空気圧調質機器分科会

開催日 2月20日(火)

出席者

主 査 小田敏裕 (甲南電機)

委 員 國崎雄嗣 (CKD)

// 三村岳 (SMC)

// 土岐真人 (コガネイ)

// 高橋隆通 (甲南電機)

アドバイザ 千葉誠 (JFPA)

空圧継手・チューブ分科会

開催日 2月20日(火)

出席者

主 査 浅里信之 (ニッタ)

委 員 條茂幸 (SMC)

// 細谷映之 (アオイ)

// 大場良太郎 (コガネイ)

// 八手又秀浩 (日本ピスコ)

油圧フィルタ・作動油分科会

開催日 2月14日(水)

出席者

主 査 難波竹己 (日本ポール)

委 員 三好真介 (MORESCO)

// 一ノ瀬健夫 (SMC)

// 富澤愛喜 (ボッシュ・レックスロス)

// 水上敬 (リオン)

// 山田高志 (大生工業)

// 相場宣慶 (東京計器)

// 大塚宏行 (油研工業)

空気圧システム分科会

開催日 2月23日(金)

出席者

主 査 増尾秀三 (CKD)

委 員 張護平 (SMC)

// 阪本晴康 (TAIYO)



〃 佐々木政彰 (アズビル TACO)  
〃 門間崇宏 (コガネイ)  
〃 神戸孝典 (甲南電機)  
アドバイザー 千葉誠 (JFPA)

油圧ポンプ・モータ分科会

開催日 2月27日(火)

出席者

主査 馬場賢司 (ボッシュ・レックスロス)

委員 加藤弘毅 (KYB)

〃 中辻順 (ダイキン工業)

〃 辻井喜勝 (タカコ)

〃 堺隆二 (川崎重工業)

〃 吉成考正 (東京計器)

〃 寺澤達士 (油研工業)

アドバイザー 千葉誠 (JFPA)

(標準化事業/ISO事業)

油圧バルブ分科会

開催日 2月15日(木)

出席者

主査 浦井隆宏 (ボッシュ・レックスロス)

委員 原健二郎 (川崎重工業)

〃 中村雅之 (KYB)

〃 瀬川均 (ダイキン工業)

〃 小林正幸 (ナブテスコ)

〃 山口正志 (不二越)

〃 高野一治 (油研工業)

〃 砂金賢憲 (タカコ)

〃 藤坂昌廣 (豊興工業)

〃 八上光春 (廣瀬バルブ工業)

アドバイザー 千葉誠 (JFPA)

(技術調査事業)

技術委員会空気圧部会若手技術者懇談会

開催日 2月9日(金)

出席者

部会長 菊池 宏 (CKD)

アドバイザー 藤谷秀次 (学会(JFPS)前事務局長)

参加者 芹澤勇尚 (SMC)

〃 萩原達也 (SMC)

〃 長谷川直美 (SMC)

〃 安部祐樹 (コガネイ)

〃 森川弘理 (コガネイ)

〃 酒井智之 (コガネイ)

〃 薛 成華 (CKD)

〃 栗本大輔 (CKD)

〃 堀尾明里 (CKD)

〃 栗島伸也 (CKD)

〃 谷口恵亮 (TAIYO)

〃 上田一廣 (日本ピスコ)

〃 松本康正 (日本ピスコ)

〃 松下祐司 (日本ピスコ)

ADS国際標準化推進・規格小委員会(第4回)

開催日 2月15日(木)

出席者

主査 吉田太志 (KYB)

委員 大林義博 (KYB)

〃 細井耕平 (堀内機械)

技術委員会 水圧部会(平29年度第8回)

開催日 2月16日(金)

出席者

部会長 宮川新平 (JFPA)

委員 大林義博 (KYB)

〃 井口 務 (廣瀬バルブ工業)

〃 田邊康伸 (廣瀬バルブ工業)

〃 村田秀紀 (阪上製作所)

〃 岩崎宏文 (イハラサイエンス)

〃 船坂 新 (川崎重工業)

〃 鳥居良介 (阪上製作所)

〃 古本 篤 (三輪精機)

〃 石丸典幸 (豊興工業)

〃 内田 晃 (日本アキュムレータ)

〃 細井耕平 (堀内機械)

〃 築山 真 (マツボー)

技術委員会空気圧部会第544回特許分科会

開催日 2月23日(金)

出席者

幹事 井野 雅康 (SMC)

委員 出澤 大 (クロダニューマティクス)

〃 赤松直人 (甲南電機)

〃 今野英俊 (コガネイ)

〃 細田一也 (CKD)

(中小企業関連事業)

中小企業委員会WG(ワキンググループ)

開催日 2月14日(水)

幹事 松井源太郎 (マツイ)

〃 木下純夫 (三尾製作所)

委員 桐生邦彦 (オックスジャッキ)

〃 星 蔵貴 (神威産業)

- 〃 高野和治 (大生工業)
- 〃 松岡 勉 (タカコ)
- 〃 風間英朗 (日本アキュムレータ)
- 〃 杉崎秀之 (廣瀬バルブ工業)
- 〃 吉見利夫 (堀内機械)
- 〃 浅香紀之 (マツイ)

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

---

~~~~~  
月間行事概要  
~~~~~

<2月>

7日(水)

- ・標準化(委)空気圧バルブ分科会

9日(金)

- ・技術(委)空気圧若手技術者懇談会

14日(水)

- ・中小企業(委)国際・中小企業共催講演会
- ・中小企業(委)中小企業WG
- ・標準化(委)フィルタ・作動油分科会

15日(木)

- ・ISO(委)油圧バルブ分科会
- ・技術(委)ADS標準化推進事業・規格小委員会
- ・同上第4回規格小委員会

16日(金)

- ・標準化(委)空気圧エアドライヤ分科会
- ・ISO・標準化(委)空気圧コンタミ分科会
- ・技術(委)水圧部会

20日(火)

- ・ISO(委)空気圧継手・チューブ分科会
- ・ISO(委)空気圧調質機器分科会

22日(木)

- ・技術(委)第 回技術講演会

23日(金)

- ・標準化(委)空気圧システム分科会
- ・技術(委)空気圧部会第544回特許分科会

27日(火)

- ・ISO(委)ポンプ・モータ分科会

---

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ